

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和5年度

1 基本情報

公の施設名	さがみ湖リフレッシュセンター
指定管理者名	株式会社 ギオン
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立さがみ湖リフレッシュセンター条例
施設の設置目的	高齢者の健康の保持及び増進並びに介護知識及び介護方法の普及を図り、高齢者に趣味活動の場を提供し、並びに高齢者の機能訓練を行う拠点施設
施設概要	所在地 緑区若柳1207番地4 施設設置平成13年4月1日 敷地面積 2,055.14㎡ 建物延床面積 1,102.9㎡ 建物構造 鉄骨鉄筋コンクリート造(地上2階) 1階 会議室 2階 ふれあいルーム1, 2 研修室 調理実習室 憩いの間 図書コーナー 交流コーナー 事務室
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 津久井高齢・障害者相談課

2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	24,160	26,617	26,741	3,033	12,510	20,620	16,859
利用料金合計(円)	135,110	520,590	650,940	4,890	388,380	575,529	621,161
(参考)利用料金中、次年度分	—	175,585	116,025	0	0	0	0

※新たな指定期間の開始により、令和元年度利用料金合計には平成30年度中の預り金(175,585円)を含みます。

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
A	成果指標1については、達成度107.3%で延利用部屋数の目標値は達成している。コロナ禍では大幅に施設利用が減少したが、それ以降2年度連続で目標値を達成したことは評価できる。 成果指標2については、各事業への参加者から高い満足度を得ており、参加者のニーズにあった質の高い事業を実施できたものと評価できる。

指標1

指標名(回)	施設の延利用部屋数(単位:回)
指標式と指標の説明	リフレッシュセンターを拠点とした活動の推進状況を、客観的に評価するため、1年間の施設の延利用部屋数を指標として設定する。(調理実習室は含まない)

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(回)	—	—	1,760	2,130	2,142	2,154	2,166
実績値(回)	1,841	2,167	2,229	1,506	1,781	2,317	2,325
達成度(%)	—	—	126.6%	70.7%	83.2%	107.6%	107.3%

指標2							
指標名 (%)	事業への参加者の満足度						
指標式と指標の説明	指定管理者が実施した事業の内容を評価するため、事業への参加者の満足度を指標とする。						
項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	—	—	—	—	90%以上	90%以上	90%以上
実績値 (%)	—	—	—	—	92.8%	98.8%	100.0%
達成度 (%)	—	—	—	—	103.1%	109.8%	111.1%

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	新型コロナウイルスの感染状況が完全に終息しない中で、企画提案事業及び自主事業について積極的に実施したことは評価できる。参加者数が伸びていないのは、主な対象者である高齢者が、外出に慎重になっていたものと推測される。 自主事業においては、「ほたるまつり」へ出店するなど、地域と連携した事業の実施は評価できる。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
なし			

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
スポーツウエルネス吹矢教室	4月～3月	専門性の高い種目のため、日本スポーツウエルネス吹矢協会へ講師の派遣を依頼して事業を実施した。 【実施日】 4/24(5人) 5/29(6人) 6/26(6人) (参加者) 7/31(7人) 8/28(7人) 9/25(10人) 10/30(8人) 11/27(9人) 12/25(9人) 1/29(9人) 2/26(9人) 3/25(7名) 計 92人	○
体力向上運動教室	1、2月	運動不足解消、冬の寒い時期の怪我予防になる、体力向上を目的とした運動指導を実施した。 【実施日】 1/10(7人) 2/14(7人) 計 14人 (参加者)	○
姿勢を整える簡単ストレッチ教室	5、10月	【実施日】 5/10(5人) 10/11(9人) 計 14人 (参加者)	○
体幹トレーニング&タオル体操教室	6、11月、12月	【実施日】 6/14(4人) 11/8(10人) 12/13(8人) 計 22人 (参加者)	○
肩こり腰痛体操教室	7、8月	【実施日】 7/12(5人) 8/9(8人) 計 13人 (参加者)	○
口コモ予防&ストレッチ教室	9月	【実施日】 9/13(10人) 計 10人 (参加者)	○

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
地域ふれあい卓球開放事業	4月～3月 原則第3土曜日	実施回数 11回 延べ参加者数 138人	○
イキイキヨガ教室	4月～3月 原則第1.3水曜日	実施回数 21回 延べ参加者数 214人	◎
ほたるまつり(射的)	6月	実施回数 1回 延べ参加者数 112人	○

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	利用者へのアンケート調査による満足度は、99.1%と非常に高い評価を受けている。特に、毎年のアンケートで「職員の対応が親切で丁寧である」という評価を受けており、職員に対する接遇指導等が徹底されているものと評価できる。また、施設の衛生面など維持管理についても高い評価を受けており、利用者の高い満足度に繋がっていることが伺える。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査を実施 時期:令和6年2月16日~3月15日 サンプル件数:285名
目標値の基準	総合的な満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	85.0%	85.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績値 (%)	98.1%	97.5%	91.3%	100.0%	98.6%	99.3%	99.1%
達成度 (%)	115.4%	114.7%	101.4%	111.1%	109.5%	110.3%	110.1%

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
ご意見箱	通年	施設受付にアンケートBOXを設置し、利用者からの意見要望等を随時受け付けている。受け付けた内容については、職員会議で共有を図り、対応に努めている。
事業アンケート	事業毎	参加のきっかけ、満足度、要望等

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	令和5年度の本体事業収支及び全体収支ともに黒字であり、特段の問題がないため、「S」評価とする。 また、団体の財務状況については、決算関係資料を確認し、「経営状況について特段の問題はない」との結果であった。

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (円)		
項目		令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入 (a)		16,217,584	16,234,868	16,808,053
指定管理料		14,867,607	14,871,110	14,870,923
利用料金収入		388,380	575,529	621,161
その他の収入		961,597	788,229	1,315,969
支出 (b)		16,196,607	16,981,633	16,581,742
人件費		9,119,582	9,600,349	9,441,578
本社管理経費		180,000	180,000	360,000
その他の支出		6,897,025	7,201,284	6,780,164
本体事業収支 [(a)-(b)] (c)		20,977	-746,765	226,311
自主事業収入 (d)		1,100	77,960	102,890
自主事業支出 (e)		0	101,774	66,660
自主事業収支 [(d)-(e)] (f)		1,100	-23,814	36,230
全体収支 [(c)+(f)]		22,077	-770,579	262,541
備考	・利用料金収入は回復傾向にある。(R1:650,940円) ・その他収入の主な内訳は、市からの支援金370千円、補償金789千円が交付されたもの			

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施	
実施時期	令和6年2月	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	抜き取りで調査をしたところ、概ね適正に管理されている。
危機管理	適正に実施	危機管理マニュアルや消防訓練等により、適切に実施されている。
人員配置・地元活用	適正に実施	利用状況により、人員配置を変更するなど、適切に実施されている。
現金管理	適正に実施	原則として、収納翌日には口座へ入金するなど、適切に実施されている。
会計・経理	適正に実施	抜き取りで調査をしたところ、概ね適正に管理されている。
情報セキュリティ	適正に実施	マニュアルの整備や研修の実施等、適切に実施されている。
情報公開・個人情報保護	適正に実施	情報公開マニュアルの整備等、適切に実施されている。
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	協定による規定等に基づき、適切に実施されている。
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	×
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

指定管理期間最終年度であったが、コロナウイルス感染症緩和後、久々のほたるまつりとの連携を行うなど、積極的な地域連携を心掛けた。また行う事業の満足度はとても高く、これまで継続して実施を行い良かったと考える。

10 所管課意見

・新型コロナウイルス感染症の影響が残る状況下において、企画提案事業や自主事業を継続的、定期的を実施し、延べ利用部屋数を増加させるなど施設の活性化に努めていた。

・施設利用者や事業の参加者から継続して高い満足度を得ており、指定管理期間を通して、利用者ニーズの的確な把握や丁寧な接遇を実践していた成果と認識している。

・「ほたるまつり」へ出店し地域との連携強化や施設を認識してもらうきっかけ作りとするなど、新たな利用者確保への取組は評価する。

11 選考委員会意見

・成果指標の延利用部屋数及び事業参加者の満足度については、共に達成度が100%を超えている。継続して高い評価を得ていることは、高齢の利用者に寄り添った施設運営ができているものと評価する。

・延利用部屋数の増加に反して延利用者数は減少していることから、既存事業のブラッシュアップや積極的な情報発信を図るなど、利用者増加の取組を期待する。

・相模湖地区は、特に高齢化率の高い地域であるため、介護予防や健康増進に貢献する取組が求められている。施設の設備を十分に生かすとともに、地域とも積極的に連携した事業展開を期待する。

総合評価（自動判定）

S

(85/100)

